Murata, Col. Ill. Herb. Pl. Jap **2**: 218 (1961)—Emura in Journ. Jap. Bot. **45**: 303 (1970)—Satake et al., Wild Flow. Jap. **2**: 60 (1982).

C. japonica var. *acutiloba* Hara, l.c. 200 (1943).

Distr. Honshu (Kwanto west to Kinki), and N. Kyushu (Prov. Chikugo, Gozen-dake, Z. Tashiro, Aug. 16, 1911, KYO).

By courtesy of Dr. R. Moberg, the director of the herbarium, University of Uppsala, I could confirm that the type specimen of *Actaea japonica* Thunberg coincides in the mode of hairiness of leaves with *Cimicifuga acerina* Tanaka. I wish to express my thanks to the director for his kind help. *Cimicifuga biternata* was adopted first by Makino (1901) for the combined species of *C. biternata* and *C. obtusiloba*.

□富成忠夫：**森のなかの展覧会**　写真65葉．1984．山と渓谷社，東京．¥3,800．地衣類の写真65葉を収めた写真集である。針葉樹林やブナ林の樹皮のほとんどが，多種類の地衣類や蘚苔類で覆いつくされていることはよく知られている。これらの地衣類相互の，ときには蘚苔類との組み合わせがさまざまな絵模様をつくっている。著者はこれを“絵”と感じとり，その多様さを展覧会と見てとったところに，自然の中に芸術を探し出すしたたかな感覚がある。「重い式服」には金銀の勲章や飾りで飾りたてた燕尾服を感じるし，「煙をはく汽車」が見えてくるし，「ワインレッドの馬」も見えてこようというものだ。分類という観点からしか地衣類を見ていない私達にとっては全くの驚きであり，こんな形で地衣類が世の人々にひろく紹介されることなど夢にも考えなかった。ここに撮されている地衣類の種類が，コアカミゴケだとかブナノモツレサネゴケだとか，野暮な詮索はやめて，自然の造形の美しさ，奇抜さを堪能してみよう。　　　　（黒川　逍）

□Hawksworth, D.L. & D.J. Hill: **The lichen-forming fungi** 158 pp. 1984. Blackie & Son Ltd., Glasgow. £7.95 (paperback). 本書は一般植物学についてある程度の知識をもつ人を対象にした地衣類の解説書である。1. The lichen habit, 2. Thallus structure, 3. Reproduction, 4. Dispersal, establishment and growth, 5. Metabolism and physiology, 6. Ecology and sociology, 7. Biogeography, 8. Secondary metabolites, 9. Environmental monitoring の 9 章からなり，巻末には各章別に参考文献があげられている。著者等は地衣類を独立の植物群とは認めず，菌類の分類体系に含めるべきものとの強い主張をかねてからもっており，本書の表題もその反映であるが，これについては第 1 章でわずかにその根拠らしきものが示されているに過ぎない。第 2-9 章は地衣類についての従来の解説書と基本的には変わるところはない。ただ，最近の知見を盛りこんで極めて要領よくまとめてあり，地衣類の生物学的特性を概観するには手頃な手引書となっている。　　　　（柏谷博之）